

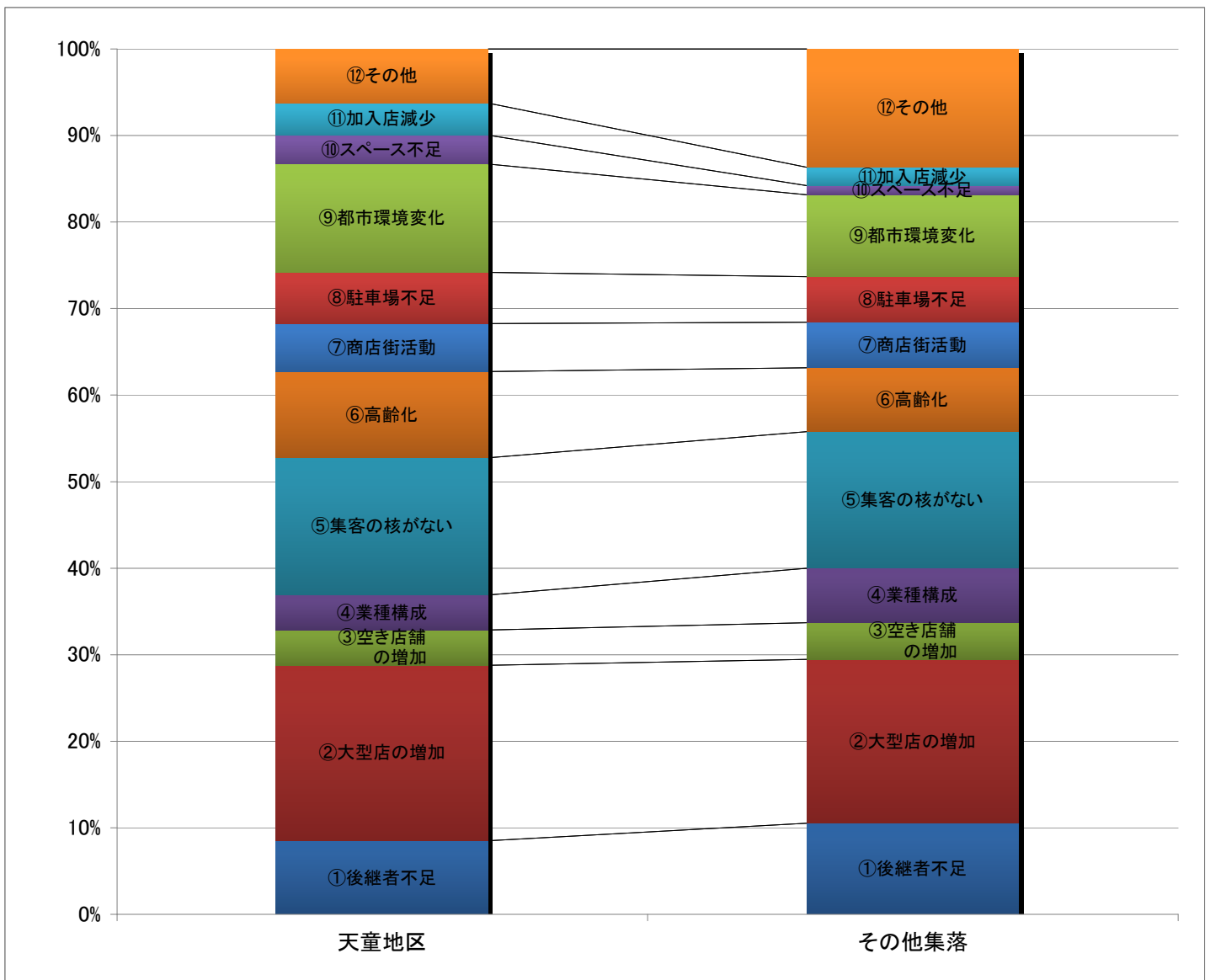
## 問10－商店がかかえている問題点についての分析

問10－商店が抱えている問題については、下表のとおり総計の順位では、1位、②大型店の増加、2位、⑤集客の核がない、3位、⑨都市環境の変化、4位、⑥高齢化、5位、①後継者不足 という結果であったが、他の設問との関連で分析してみると、それぞれ項目別に特徴が見られることから、以下に分析を行った。

### ★地区別

	①後継者不足	②大型店の増加	③空き店舗の増加	④業種構成	⑤集客の核がない	⑥高齢化	⑦商店街活動	⑧駐車場不足	⑨都市環境変化	⑩スペース不足	⑪加入店減少	⑫その他	計
天童地区	8.5	20.3	4.1	4.1	15.9	10.0	5.5	5.9	12.5	3.3	3.7	6.3	100
その他集落	10.5	18.9	4.2	6.3	15.8	7.4	5.3	5.3	9.5	1.1	2.1	13.7	100
無回答	14.8	22.2	3.7	1.9	11.1	16.7	3.7	9.3	5.6	0.0	3.7	7.4	100
総計	9.8	20.2	4.0	4.3	15.2	10.2	5.2	6.2	11.0	2.4	3.3	8.1	100

全体的には天童地区とその他の集落で傾向に大きな違いは見られない。その中で、後継者不足についてはややその他の集落が高く、一方で高齢化については天童地区が高くなっている。都市環境については天童地区がやや高い。

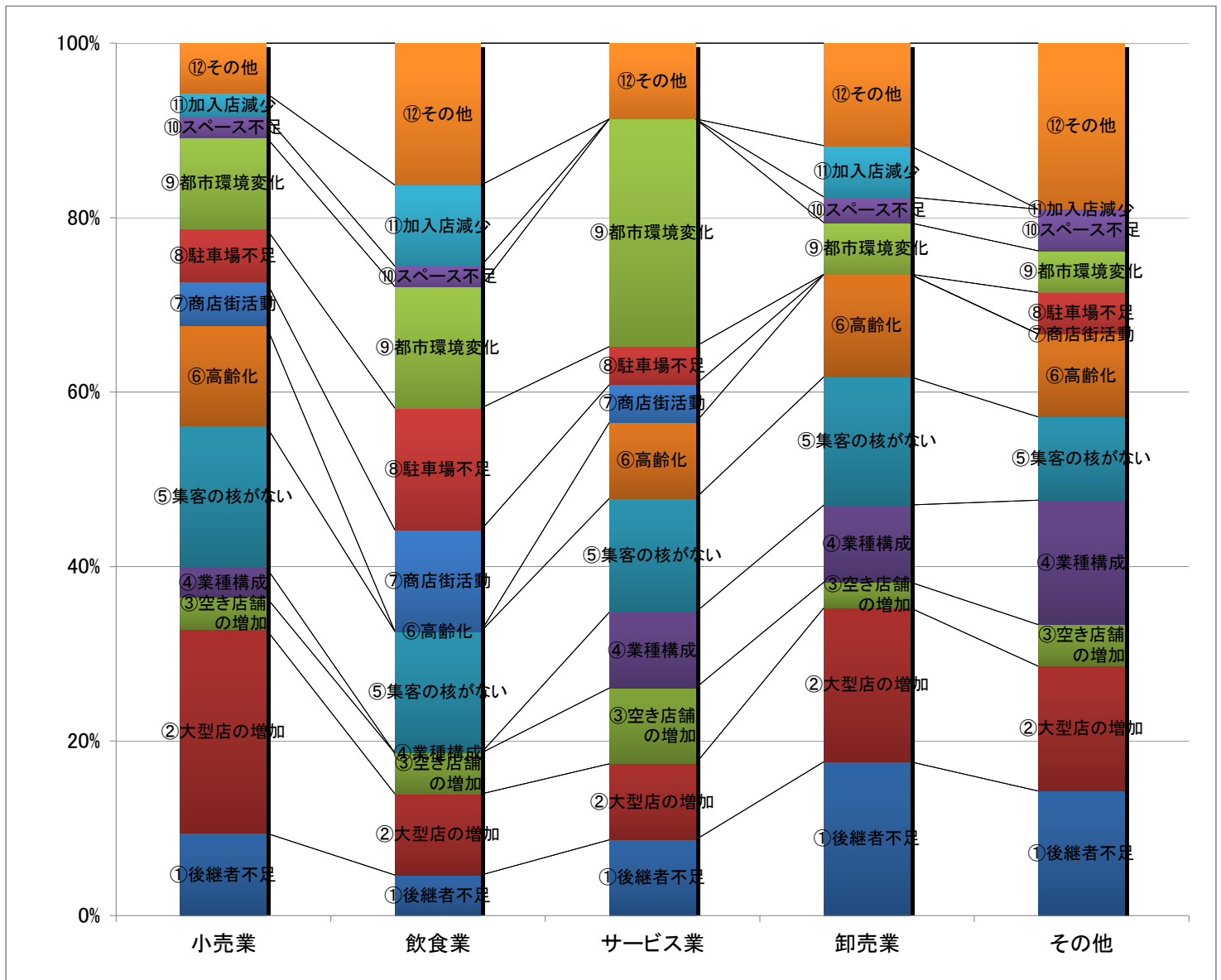


# 問10－商店がかかえている問題点についての分析

## ★業種別

	① 後継者不足	② 大型店の増加	③ 空き店舗の増加	④ 業種構成	⑤ 集客の核がない	⑥ 高齢化	⑦ 商店街活動	⑧ 駐車場不足	⑨ 都市環境変化	⑩ スペース不足	⑪ 加入店減少	⑫ その他	計
小売業	9.5	23.3	3.7	3.4	16.2	11.5	5.1	6.1	10.5	2.4	2.7	5.7	100
飲食業	4.7	9.3	4.7	0.0	14.0	0.0	11.6	14.0	14.0	2.3	9.3	16.3	100
サービス業	8.7	8.7	8.7	8.7	13.0	8.7	4.3	4.3	26.1	0.0	0.0	8.7	100
卸売業	17.6	17.6	2.9	8.8	14.7	11.8	0.0	0.0	5.9	2.9	5.9	11.8	100
その他	14.3	14.3	4.8	14.3	9.5	9.5	0.0	4.8	4.8	4.8	0.0	19.0	100
無回答	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
総計	9.8	20.2	4.0	4.3	15.2	10.2	5.2	6.2	11.0	2.4	3.3	8.1	100

後継者不足については、小売業、飲食業、サービス業が低く、卸売業、その他が高くなっている。大型店増加への懸念は小売業が飛びぬけて高い一方で、飲食業、サービス業はそれほど高くない。集客の核については業種に限らず課題としているようである。また、飲食業は商店街活動や駐車場不足、加入店減少に対する懸念が強く、サービス業は都市環境の変化に対して敏感となっている。総合すると、飲食業は商店街活動や自身以外の加入店への目配りができる程度の余裕があり、大型店の進出に対してもそれほど脅威を感じていないようである。さらには唯一駐車場不足を課題としていることからそれなりの顧客の確保が図られているものと思われる。大型店に対する反応はサービス業も同様であるが、両業種ともに地域密着型であることや、大型店との競合が少ないためと推察される。一方で、小売業は大型店の進出を大いに警戒しており、次いで卸売業の大型店に対する警戒感が強い。

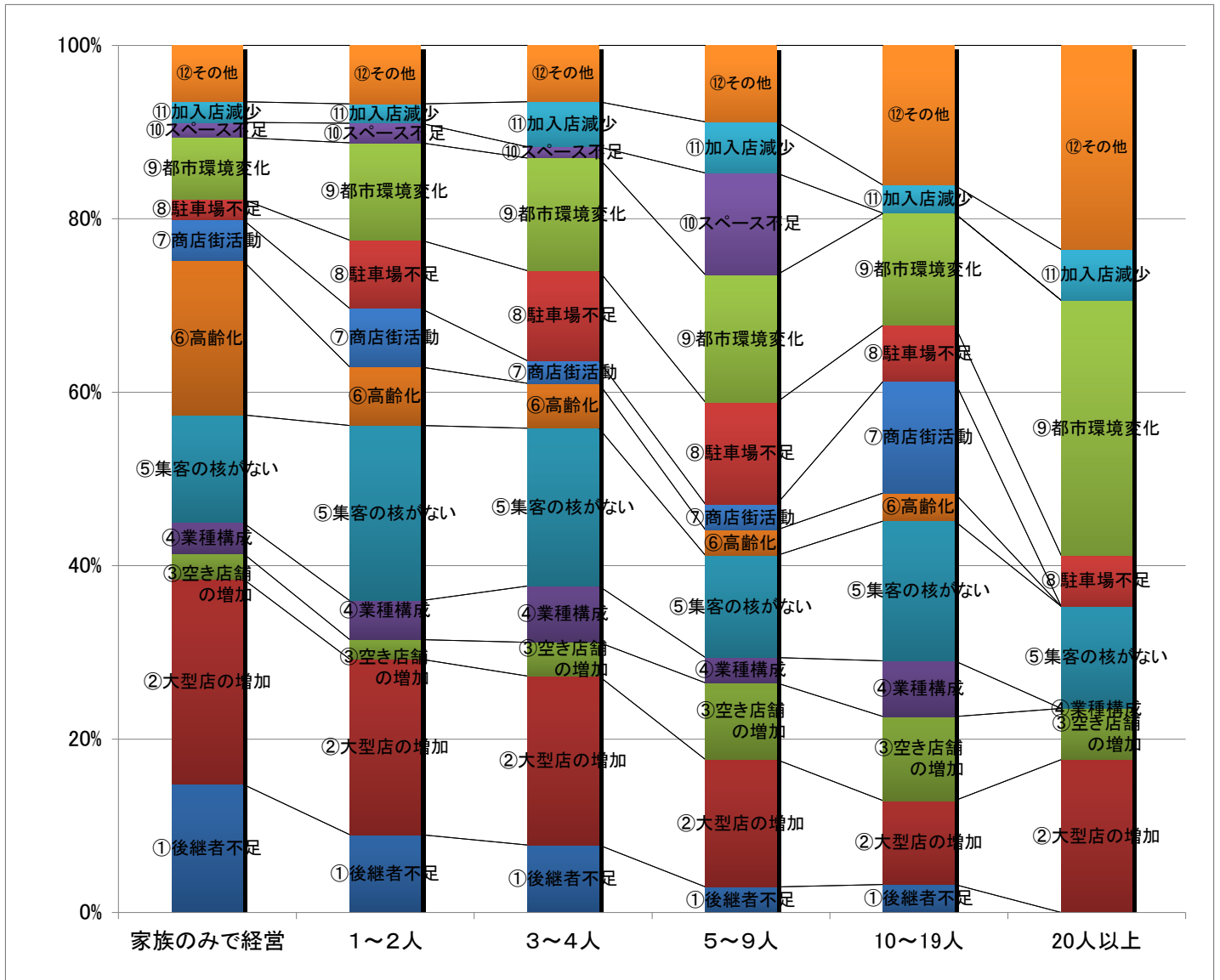


# 問10－商店がかかえている問題点についての分析

## ★規模別

	① 後継者不足	② 大型店の増加	③ 空き店舗の増加	④ 業種構成	⑤ 集客の核がない	⑥ 高齢化	⑦ 商店街活動	⑧ 駐車場不足	⑨ 都市環境変化	⑩ スペース不足	⑪ 加入店減少	⑫ その他	計
家族のみで経営	14.8	23.7	3.0	3.6	12.4	17.8	4.7	2.4	7.1	1.8	2.4	6.5	100
1～2人	9.0	20.2	2.2	4.5	20.2	6.7	6.7	7.9	11.2	2.2	2.2	6.7	100
3～4人	7.8	19.5	3.9	6.5	18.2	5.2	2.6	10.4	13.0	1.3	5.2	6.5	100
5～9人	2.9	14.7	8.8	2.9	11.8	2.9	2.9	11.8	14.7	11.8	5.9	8.8	100
10～19人	3.2	9.7	9.7	6.5	16.1	3.2	12.9	6.5	12.9	0.0	3.2	16.1	100
20人以上	0.0	17.6	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	29.4	0.0	5.9	23.5	100
無回答	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
総計	9.8	20.2	4.0	4.3	15.2	10.2	5.2	6.2	11.0	2.4	3.3	8.1	100

規模別の傾向では、規模が小さくなるほど後継者不足を懸念している。特に家族経営が著しく高い。大型店の増加については、20人以上でやや増加するものの、基本的には規模が大きくなるほど低下する。また、集客の核についても規模が大きくなるほど低下する（大型店は自身を核施設と捉えているので当然であるが）。高齢化については家族経営者の懸念が著しく強いが、少なくとも従業員を雇用している店舗ではそれほど高くない。商店街活動に対しては10～19人の層が課題と思っており、駐車場不足は3～4人、5～9人の層で課題と感じている。都市環境変化については20人以上の層が大きく懸念しているが、規模が小さい層はローカルなエリアで競争しているのに対して、規模が大きい層はグローバルなレベルでの競争にさらされているためと思われる。

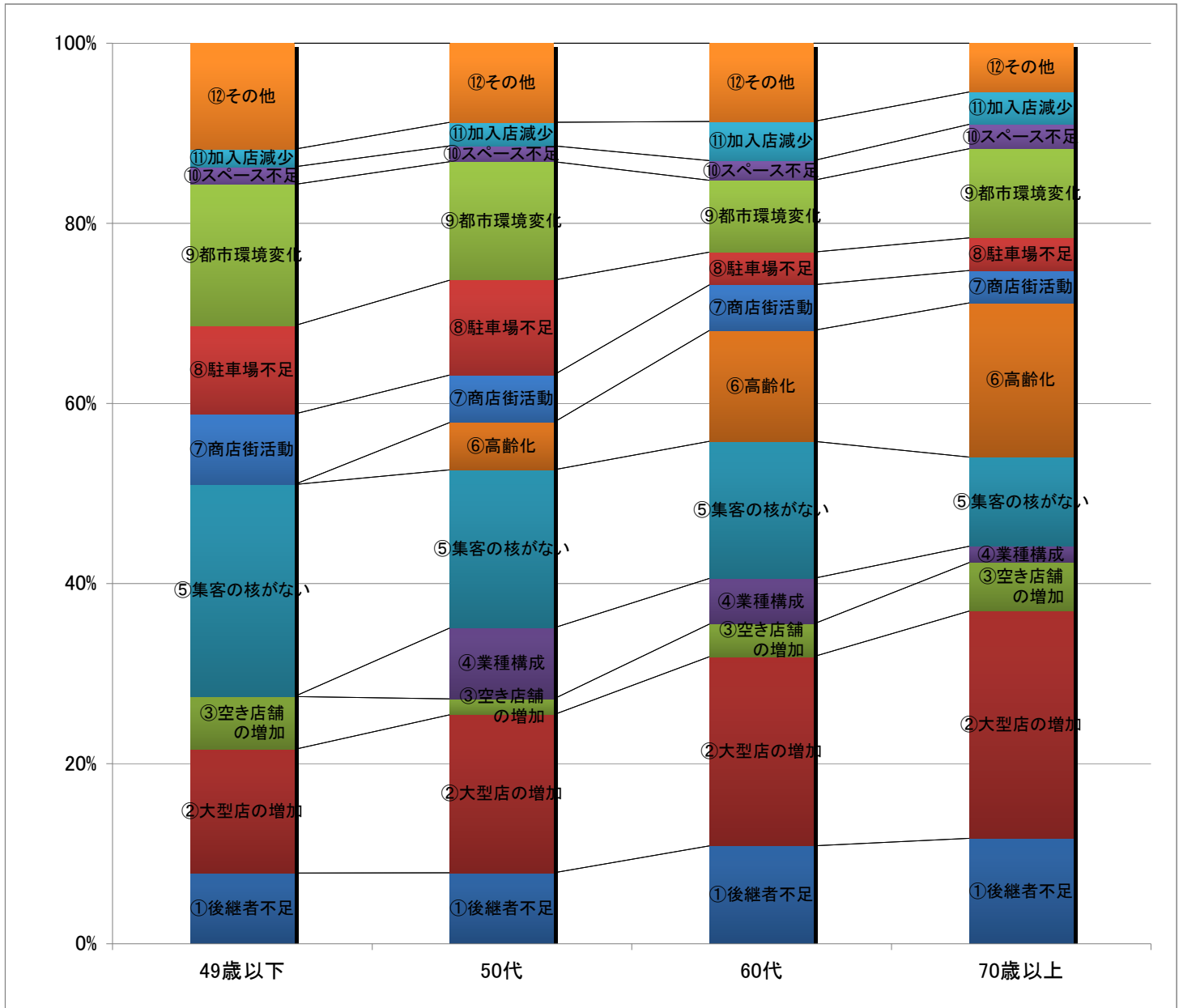


# 問10－商店がかかえている問題点についての分析

## ★年代別

	① 後継者不足	② 大型店の増加	③ 空き店舗の増加	④ 業種構成	⑤ 集客の核がない	⑥ 高齢化	⑦ 商店街活動	⑧ 駐車場不足	⑨ 都市環境変化	⑩ スペース不足	⑪ 加入店減少	⑫ その他	計
49歳以下	7.8	13.7	5.9	0.0	23.5	0.0	7.8	9.8	15.7	2.0	2.0	11.8	100
50代	7.9	17.5	1.8	7.9	17.5	5.3	5.3	10.5	13.2	1.8	2.6	8.8	100
60代	10.9	21.0	3.6	5.1	15.2	12.3	5.1	3.6	8.0	2.2	4.3	8.7	100
70歳以上	11.7	25.2	5.4	1.8	9.9	17.1	3.6	3.6	9.9	2.7	3.6	5.4	100
無回答	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	100
総計	9.8	20.2	4.0	4.3	15.2	10.2	5.2	6.2	11.0	2.4	3.3	8.1	100

後継者不足については、当然ながら60代以上が課題としている。また、高齢化についても年齢が高くなるほど高い。年齢が高くなるほど大型店の増加に対する懸念が強まる一方で、集客の核施設への期待が小さくなるという、反比例の関係がみられる。若い層は核施設を中心に経営を図っていくという積極的な姿勢がみられるが、60代以上になるとそれがみられず、ただ大型店を忌避するだけの受け身の姿勢に変化しているようである。都市環境変化については若い層ほど敏感であり、60代を境に極端に減少する。

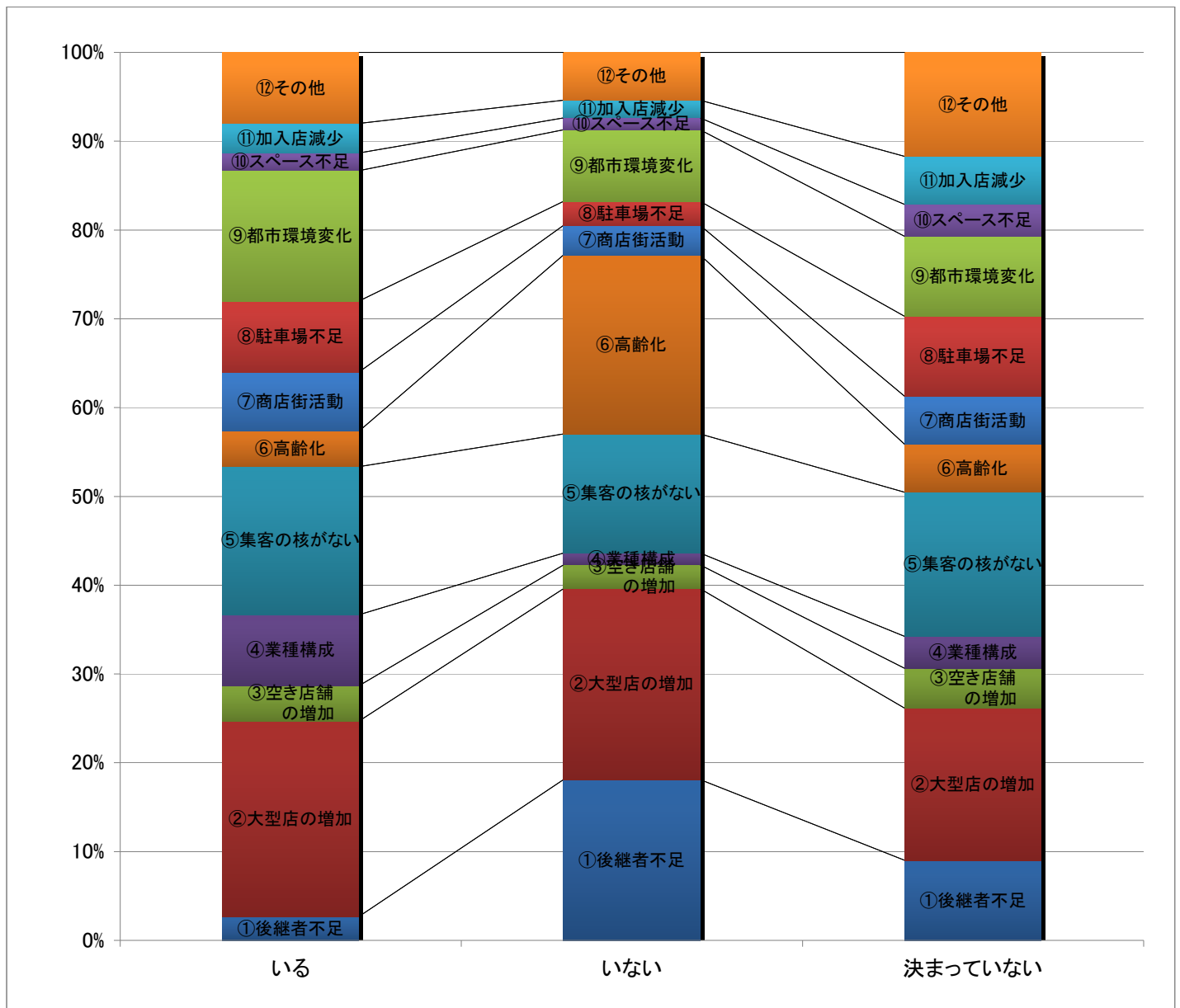


# 問10－商店がかかえている問題点についての分析

## ★後継者の有無別

	①後継者不足	②大型店の増加	③空き店舗の増加	④業種構成	⑤集客の核がない	⑥高齢化	⑦商店街活動	⑧駐車場不足	⑨都市環境変化	⑩スペース不足	⑪加入店減少	⑫その他	計
いる	2.7	22.0	4.0	8.0	16.7	4.0	6.7	8.0	14.7	2.0	3.3	8.0	100
いない	18.1	21.5	2.7	1.3	13.4	20.1	3.4	2.7	8.1	1.3	2.0	5.4	100
決まっていない	9.0	17.1	4.5	3.6	16.2	5.4	5.4	9.0	9.0	3.6	5.4	11.7	100
無回答	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	10.0	100
総計	9.8	20.2	4.0	4.3	15.2	10.2	5.2	6.2	11.0	2.4	3.3	8.1	100

後継者不足、高齢化については、後継者がいるグループが低く、いないグループが高く、決まっていないグループが中間という当たり前の結果となっている。後継者がいるグループは後継者不足以外の業種構成や都市環境変化などへの関心が高いことから、経営を取り巻く環境の変化に敏感であり、商店街活動への関心の高さからは経営への積極性がうかがわれる。また、いるグループ及び決まっていないグループは駐車場不足を課題として挙げていることから、一定程度の顧客を確保しているものと思われる。

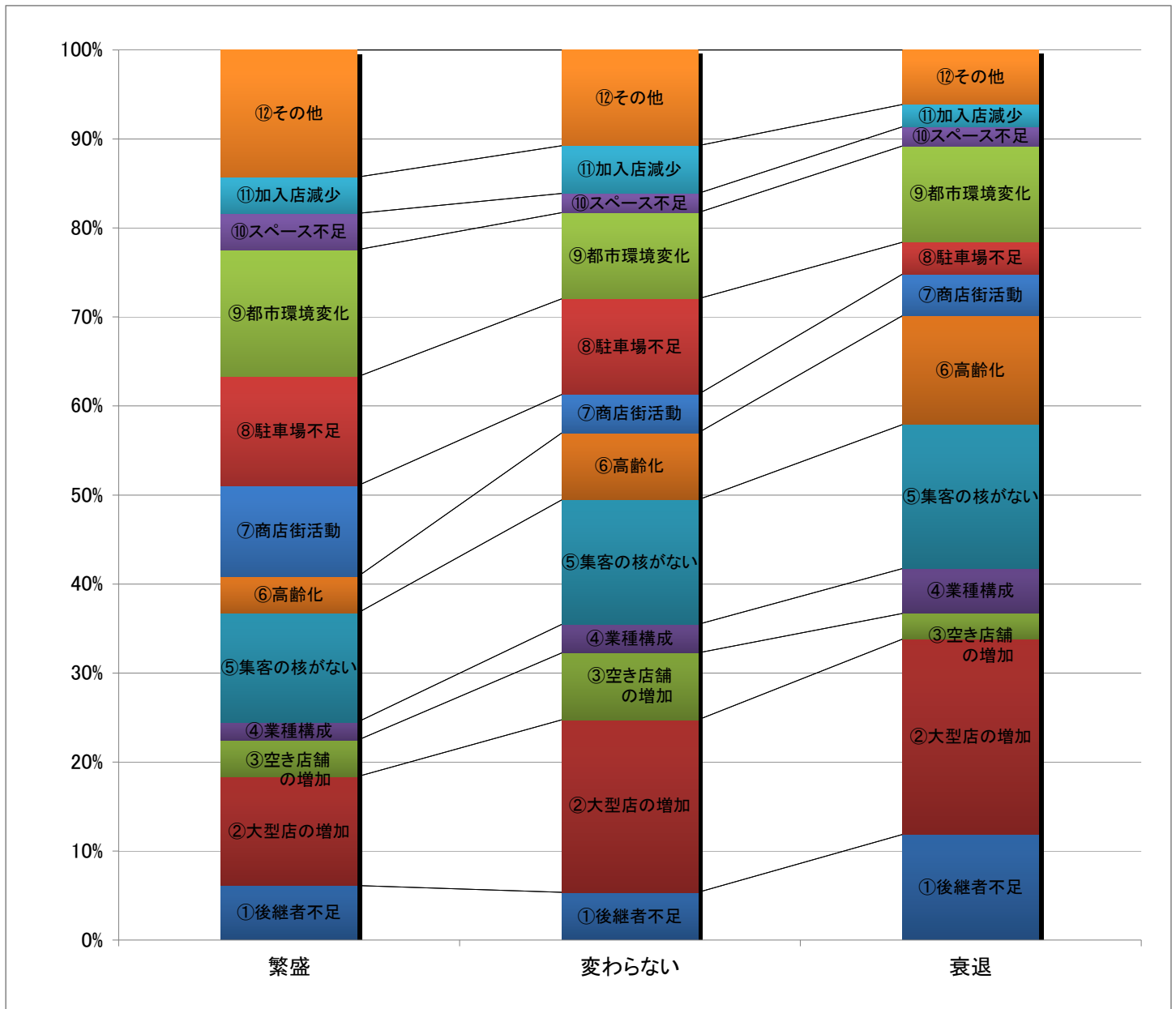


# 問10－商店がかかえている問題点についての分析

## ★景況感別

	①後継者不足	②大型店の増加	③空き店舗の増加	④業種構成	⑤集客の核がない	⑥高齢化	⑦商店街活動	⑧駐車場不足	⑨都市環境変化	⑩スペース不足	⑪加入店減少	⑫その他	計
繁盛	6.1	12.2	4.1	2.0	12.2	4.1	10.2	12.2	14.3	4.1	4.1	14.3	100
変わらない	5.4	19.4	7.5	3.2	14.0	7.5	4.3	10.8	9.7	2.2	5.4	10.8	100
衰退	11.9	21.9	2.9	5.0	16.2	12.2	4.7	3.6	10.8	2.2	2.5	6.1	100
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	9.8	20.2	4.0	4.3	15.2	10.2	5.2	6.2	11.0	2.4	3.3	8.1	100

繁盛のサンプル数が少ないこと、大きな傾向を見るため「繁盛している」と「やや繁盛している」、「やや衰退している」と「衰退している」の上位、下位の2項目をまとめた2top比率により分析した。繁盛グループは変わらないグループ、衰退グループと比較して、大型店の増加に対する懸念が小さい。一方で商店街活動に対する関心が非常に強く、また、都市環境変化に対する関心も高くなっている。また、駐車場不足についてもやや高くなっている。一方で衰退グループは大型店の増加や集客の核など、他律的な事項への関心が高く、やや他力本願的であるように思われる。また、後継者不足、高齢化なども高くなっている。変わらないグループは衰退グループ同様大型店増加や集客の核が高い。



## 問21－行政に期待する支援策についての分析

問21－行政に期待する支援策については、下表のとおり総計の順位では、1位 ⑤空き店舗活用及び⑥資金支援、3位 ⑭街並み整備、4位 ⑧共同事業支援、5位 ⑦駐車場整備、⑪新規進出支援 という結果であったが、他の設問との関連で分析してみると、それぞれの項目別に特徴が見られることから、以下に分析を行った。

### ★地区別

	① 診断指導	② 専門家派遣	③ IT活用支援	④ 施設改善	⑤ 空き店舗活用	⑥ 資金支援	⑦ 駐車場整備	⑧ 共同事業支援	⑨ コミュニティ施設	⑩ 開業支援	⑪ 新規進出支援	⑫ 支援措置紹介	⑬ 共通商品券発行	⑭ 街並み整備	⑮ その他	計
天童地区	4.4	2.4	5.2	7.3	11.3	10.1	9.7	11.7	5.6	2.4	7.3	3.2	4.8	12.5	2.0	100
其他地区	3.8	1.3	10.3	2.6	14.1	15.4	2.6	2.6	6.4	3.8	7.7	6.4	9.0	9.0	5.1	100
無回答	4.8	7.1	9.5	0.0	14.3	19.0	2.4	9.5	0.0	2.4	7.1	9.5	4.8	4.8	4.8	100
総計	4.3	2.7	6.8	5.4	12.2	12.2	7.3	9.5	5.2	2.7	7.3	4.6	5.7	10.9	3.0	100

地区別については、公民館地区別になるとサンプル数が少ないため、天童地区(市街地)と其他地区に区分けした。天童地区は駐車場整備、共同事業支援、街並み整備など自身の店舗以外の経営環境に対する関心が高いのに対し、其他地区はIT活用支援、資金支援、支援措置紹介など、自身の経営に関する部分への関心が高くなっている。また、施設改善は天童地区が、共通商品券発行は其他地区が高くなっている。

